

令和4年産香川県産新茶初取引 令和4年4月27日**JA香川県農産加工センター**

JA香川県農産加工センターは、令和4年産の新茶初取引を開催します。初取引は三豊市高瀬町、まんのう町で栽培された新茶が出荷され、茶業者が参加し入札を行います。

1. 日時 令和4年4月27日（水）13:30～

2. 場所 JA香川県農産加工センター
（高松市一宮町字刷塚1431-1）

**3. 過去の初取引について**

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
取引日	4月22日	4月24日	4月26日	4月23日
上場点数	15点	11点	19点	21点
取引数量	75kg	57kg	131kg	178kg

4. 県内の生産概況

本県における茶栽培は寛永年間（1600年代）に始まったとされ以来400年近くの歴史を有しております。本格的な栽培は、昭和40年代以降に県南西部の中山間部を中心に行われ、400年まで面積を拡大してきました。しかし、消費量の減少や生産者の後継者不足、高齢化により現在は約25%にまで減少しています。

産地は三豊市高瀬町、まんのう町で、令和4年度は、年間34トンの荒茶の生産を見込んでいます。

5. 令和4年度の生育状況

本年の出荷は、当初若干早い予想でしたが、4月の降水量が少なかったことから新芽の伸びが鈍く、平年並みの開始となっています。新芽の品質は良好で、八十八夜の5月2日頃には収穫の最盛期を迎える予定です。

6. 最近の茶業の状況

茶飲料（ペットボトル）の需要が多くなり、急須でお茶を淹れて飲む生活習慣が薄れ茶葉の消費量が減少しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で外食産業での消費量減少により荒茶の価格が低迷し、生産者の存続が困難な状況となっています。しかし、最近の抹茶ブームによりお菓子やスイーツの原材料としての消費や海外輸出が伸びています。本県でも同様にお菓子やアイスクリーム・うどん等に茶葉を利用し消費拡大に取り組んでいます。

7. 関連行事

令和4年5月6日(予定) 栗林公園 茶摘体験 (栗林小学校3年生)

【本件に関するお問い合わせ先】

J A香川県 農産加工センター 担当：藤野、大西

電話 087-818-4117 FAX 087-885-6403

※情報提供：J A香川県総合企画部総合企画課 電話：087-825-1233